

バスケットボール競技実施要項

1. 主催 都城工業高等専門学校
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
2. 後援 (一社) 宮崎県バスケットボール協会
3. 期日 令和4年7月2日(土)・3日(日)
4. 会場 高城総合体育館(男子第1日、男女第2日)(都城市)
山之口運動公園体育館(女子第1日)(都城市)
5. チーム人員 男子選手15名以内、女子選手12名以内、スタッフは男子・女子とも監督・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャー各1名の4名とする。
6. 競技規則 2022バスケットボール競技規則による。
7. 競技方法
 - (1) 男子は出場10チームと女子は出場9チームをそれぞれA、B、Cの3ブロックに分け、ブロック別に予選リーグ(リンク戦)を第1日目に行う。
 - (2) 男子はA、Bブロック1位とCブロック1・2位チームによる決勝トーナメント戦を第2日目に行う。女子はAブロック1・2位チームと、B、Cブロックの1位チームによる決勝トーナメント戦を第2日目に行う。
 - (3) 前年度大会(代替大会)の成績によって、男子は第1位チームをAブロック、第2位チームをBブロック、第3位チームをCブロックにシードとし、女子は第1位・2位チームをAブロック、第3位チームをB・Cブロックのシードとする。
 - (4) 決勝トーナメント戦の組合せは、組合せ表のとおりとする。女子についてはB、Cブロックの1位チームで抽選を行い組合せを決定する。
 - (5) リーグ・リンク戦における順位決定は、次のとおりとする。
 - ア 勝率の高い順による。
 - イ 同勝率の場合
 - イ-1 当該チームの直接対決による勝チームを上位とする。
 - イ-2 総得点と総失点の差が大きい方を上位とする。
 - イ-3 イ-2の差が同じ場合は、ゴールアベレージの大きい方を上位とする
8. 注意事項・その他
 - (1) 使用球は、男子は日本バスケットボール協会公認球(7号球、8面体)・女子は日本バスケットボール協会公認球(6号球、8面体)とする。
 - (2) ベンチは組合せ左側チームがオフィシャル席に向かって右側とする。
 - (3) ユニフォームは濃淡(白)2色を用意すること。原則として組合せ左側チームが淡(白)とする。
 - (4) ユニフォーム番号は、0又は00を含む1～99番までの番号とし、大会期間中同一番号とする。
 - (5) 館内における履物については、当該施設の規定によるものとする。
 - (6) 日本バスケットボール協会のチーム登録と競技者登録を必ず行うこと。
 - (7) 男女両チームの兼任監督が、試合時間の関係上、片方のチームの指揮をベンチで執ることができない場合、当該チームの引率教員等関係者が代理監督としてベンチで指揮を執ることができる。ただし、試合途中での監督の交代は認められない。
 - (8) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的には利用しない。

- (9) 別紙「第 59 回（令和 4 年度）九州沖縄地区高専体育大会バスケットボール競技における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守すること。
- また、大会会場の新型コロナウイルス感染拡大防止対策方針に従い、感染拡大防止に最善を尽くすこと。

令和4年5月19日

第59回（令和4年度）九州沖縄地区高専体育大会バスケットボール競技における 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
バスケットボール競技専門部

本大会は、日本バスケットボール協会（以下、JBA）の感染防止対策ガイドライン（JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン（手引き）第5版）にもとづき、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、以下の取り組みを行います。

なお、今後の状況に応じて、本対策を見直すことがあり得ることにご留意ください。

【本大会の開催条件】

九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟バスケットボール競技専門部は、次の条件を十分に検討し、本大会の開催の可否を決定する。

1. 開催県（宮崎県）の「緊急事態宣言」等が解除されていること。
2. 開催県並びに参加する学校の所在県の自治体から移動自粛要請、教育委員会及び当該校からの休校措置等がないことを確認し、部活動制限の枠組みの中で実施すること。
3. 「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン（手引き）第5版」に基づく対策を講じること。

【基本原則】

1. 試合の観戦は、新型コロナウイルス感染の拡大状況により、無観客試合または事前に来場登録された保護者のみ許可し、部員でない学生、卒業生等の観戦は不可とする。
 2. 会場への入場は、当該施設の利用条件の範囲内において、下記の関係者に限りこれを認める。ただし、来場事前登録された保護者の入場を認める場合がある。
 3. 3つの密（密閉、密集、密接）を回避する。
 4. 移動前の手洗い・うがい・検温の徹底とバスなどによる移動時の濃厚接触を回避する。
 5. 各チームは「感染対策責任教員」を指名し、本大会ガイドラインを事前に熟読するものとする。
- また、窓口を一本化することをチームと大会運営関係者で決めておく。

【関係者のカテゴリー】

1. 大会運営関係者（当該県市協会役員、レフェリー、運営スタッフ）
 2. 学校関係者（大会運営関係教職員、感染対策責任教員、引率教員、コーチ、アシスタントコーチ、メディカルスタッフ、選手、控え部員、マネージャー）
- 試合に関わるすべての関係者および来場事前登録された保護者は、試合日の2週間前からの検温を別紙に記録しておくこと。各チームの感染対策責任教員は、大会初日にこの記録を本部に提出すること。記録用紙は、JBAの定める「健康チェックシート」とする。

【健康状態の確認】

1. 大会に関わる関係者は、入場の際、必ず検温を実施・記録し37.5度以上の場合は入場できないこととする。また、発熱がなくても息苦しさ（呼吸困難）や強いだるさ（倦怠感）等がある場合も同様とする。
 2. 感染対策責任教員、引率教員、コーチ、アシスタントコーチ、メディカルスタッフ、選手、控え部員、マネージャーは、試合当日起床後、自身で検温し、チーム集合時に別紙検温確認表を作成し、同表を試合会場到着時に大会本部に提出する。
- 検温の結果、37.5度以上の者は、大会会場への来場は自粛する、体調がよくない場合も同様とする（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。

【対策】

1. アルコール消毒薬を体育館入口、また数か所に設置する。
2. 大会運営スタッフはマスクを着用する。
4. 体育館への移動の際はマスクを着用する。試合会場にはアルコール消毒液を設置しているの
で、こまめに活用し、感染予防につとめる。
4. 入場管理を徹底できるように、出入口を限定し、それ以外の出入口は封鎖する。
5. 更衣室は、利用人数や時間に制限を設けるなど、密にならない対策をする。
6. 試合時、ベンチに入れるのは、感染対策責任教員、コーチ、アシスタントコーチ、メディカル
スタッフ、選手 15 名以内、マネージャー1 名以内とする。その他のチーム関係者は、観客スタ
ンドの指定された席において観戦することとする。
7. 試合前後の挨拶(整列)は、間隔を適度に空け、黙礼とする。
8. 試合に出場していない指導者、選手などはマスクを着用する。
9. 試合中はベンチ及び観客席において大きな声を出しての応援は禁止する。素手でのハイタッチ
・握手を控え、円陣を組むなどは密集にならないように配慮すること。
10. 脱水症にも十分に配慮することとし、水分補給等を行うが、各人のペットボトルや使い捨て紙
コップなどを用意し、飲み回し等を行わないようにする。
11. 観客席では、一人一人の間隔を 1 m 以上とって観戦するようにする。また、大声での応援はせ
ず、拍手での応援を基本とする。
12. 感染症予防に係る消毒作業等については、以下の通りとする。作業に使用する消毒薬、タオ
ル、雑巾等については、大会主催者が準備する。
ベンチ：大会本部役員指示のもと、チームで清掃、消毒作業を行う。
スタンド：大会本部役員指示のもと、控え部員、マネージャー、保護者は、各々が使用した区
域の清掃、消毒作業を行う。
更衣室：大会本部役員指示のもと、各々が使用した区域の清掃、消毒作業を行う。
T0：T0 を行っていたチームが消毒を実施する。
13. ハーフアップ・外アップはマスク着用の上、実施可とする。
14. 試合中、交代(クォーター間)でベンチに戻る際は消毒を行う。
15. 館内のすべての窓とカーテンを開けて試合を実施する。ただし、会場責任者の判断で窓、カー
テンを閉める場合がある。
16. 食事をとる場合は、黙食を徹底する。

【大会前に関係者から感染者等が発生したときの対応】

1. 感染者が発生した場合の対応

大会運営関係者：接触歴を確認し、濃厚接触者は判明日から 7 日間、自宅待機とし別の競技役員が
運営にあたる。ただし、濃厚接触者であっても判明日から 4 日目及び 5 日目の抗
原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は 5 日目で待機を解除する
ことができる。

チーム関係者：感染者以外の指導者、部員は基本的に濃厚接触者となるため、チームは試合への参
加を自粛(辞退)する。

2. 濃厚接触者となった場合の対応

大会運営関係者：当該者は 7 日間の自宅待機とする、7 日間経過後、高熱などの症状が出なかった
場合は復帰可とする。ただし、濃厚接触者であっても判明日から 4 日目及び 5 日
目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は 5 日目で待機を解
除することができる。

チーム関係者：チーム関係者以外の者が感染者となり、自身がその濃厚接触者である場合は、当該
者は自宅待機とし、その者以外の指導者、部員で試合に参加することは可とする。

※ 新型コロナウイルスの感染者が出た場合、「濃厚接触者」を決めるのは「所轄の保健所」、また
は「学校等」であり、遅滞なく、正しい情報を提供すること。

※ 罹患が発生した場合、本人が発症 2 日前から現時点までの行動歴を明らかにすることが重要で
ある。大会運営関係者及びチーム関係者は、試合が開始される 2 週間前からの行動歴(いつ、ど
こで、誰に会った、など)を記録しておくこと。

【大会中に関係者から感染者等が発生したときの対応】

1. 本大会中、出場チームもしくは対戦チームに濃厚接触者や感染疑い者が生じた場合は、出場辞退を勧告、または参加資格を取り消すことができる。
2. 本大会中、出場チームに37.5℃以上の発熱者および新型コロナウイルス感染症を考慮する症状を有する者が生じた場合、出場辞退を勧告、または参加資格を取り消すことができる。
3. 対戦済みのチームに感染疑い者が発覚した場合、勝利して次戦がある当該チームに対して棄権を勧告、または参加資格を取り消すことができる。最終判断は当該チームの所属校校長の判断に従うものとする。
4. 状況によっては大会を中止することもある。

【大会後に関係者から感染者等が発生したときの対応】

1. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかにその旨と濃厚接触者の有無を報告すること。報告先は、都城高専 学生課学生係(0986-47-1135)とする。
 - I 大会運営関係者
 - II チーム関係者：当該者の所属する学校の感染対策責任教員なお、報告を受けた感染対策責任教員は、所属校へ報告すること。
2. 感染者が発生した場合、各校感染対策責任教員は、感染者を特定しようとすることやSNSで誤った情報を発信することのないように学生に適切に指導すること。

【大会中止の要件】

1. 緊急事態宣言等が再発令された場合
2. 当該施設の使用制限等、関係諸機関の指示により試合実施が不可能となった場合
3. 大会運営に支障を来す事態が生じた場合